

◆大人の自然観察会 ～春編～

さまざまな動植物が見られるみどり森で、大人向けの自然観察会を行います。自然界の営みを再発見！

日時：4月11日（土） 9：30～12：00  
対象：中学生以上 定員：20名  
参加費：100円（保険代） 要申込：受付中！

◆開館20周年記念まるごとウォーキング

7月に開館20周年を迎えるみどり森！新園路も含め、見どころを再発見するウォーキングイベントです。ゆっくり歩きながらみどり森を満喫しましょう。約8.5kmのコースです。早稲田大学バス停集合、西久保湿地解散予定。

日時：4月25日（土） 9：30～15：30  
対象：小学生以上（小学生は保護者と参加） 定員：30名  
参加費：100円（保険代）  
要申込：受付中！

◆ボランティア養成講座（全3回）

みどり森でボランティア活動を希望する方のための連続講座。全3回の講座を通してみどり森の歴史や、自然、ボランティア活動の基礎を学びます。その後ボランティア登録が可能となります。

日時：4月26日、5月17日、6月14日（いずれも日曜）  
10：00～15：00  
対象：中学生以上（全回参加可能な方） 定員：20名  
参加費：300円（保険代） 要申込：受付中！

◆親子はじめての自然観察

親子向けの自然観察会。春のみどり森で生きもの達を観察してみましょう。

日時：5月5日（火・祝） 9：30～12：00  
対象：小学生と保護者 定員：20名  
参加費：100円（保険代） 要申込：4月5日から受付開始。

◆田んぼでお米をつくろう！（全7回）

お米を育て、食べるまで体験します。米作りの大変さや、楽しさ、食の大切さを感じる全7回の連続型食育体験教室です。田んぼで体を動かそう！

日時：5月16日、5月30日、7月4日、8月1日、9月5日  
10月3日、10月24日（いずれも土曜日）  
10：00～15：00  
対象：小学生以上（小学生は保護者と参加） 定員：60名  
参加費：4500円（保険代・材料費）  
要申込：受付中！

◆里山ようちえん

子どもの成長段階や好奇心に合わせ、親子で里山の自然の中で思いっきり遊ぶ・感じることを目的とした自然体験型の森のようちえんです。お弁当持参。

【カエル組】

日時：6月7日（日） 10：00～13：30  
対象：満4～5歳児と保護者 定員：20名  
参加費：親子2名1000円・1名追加ごと500円（保険・材料代）  
要申込：5月7日から受付開始。

【オタマ組】

日時：6月10日（水） 10：00～13：30  
対象：満2～3歳児と保護者 定員：20名  
参加費：親子2名1000円・1名追加ごと500円（保険・材料代）  
要申込：5月10日から受付を開始します。

★イベントのお問合わせ・申し込み★

電話（TEL 04-2934-4396）で博物館までご連絡ください。また、公式ホームページからもお申し込みできます。イベント内容等の詳細は、お気軽にお問合せください。みなさんの申込みをお待ちしております！

「みどり森週末ガイドウォーク」実施中！

上記イベントの他、当日募集型のガイドウォークを実施中（定員は各回15名、年齢制限はありません）。案内所や大谷戸湿地周辺をスタッフがご案内します。内容は毎回変わりますので、どんなテーマか？当日までお楽しみに！  
★4～6月までのガイドウォーク実施日（予定）：  
4月12日（日）、5月2日（土）、5月10日（日）、6月14日（日）、6月27日（土）  
時間：13:00～14:00（土曜日） 11:00～12:00（日曜日） 参加費：無料 受付：当日案内所にて受付

博物館からのお知らせ

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

◆アクセス◆

★公共交通機関をご利用の場合★  
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」または「金子駅入口」 行き乗車、約25分  
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

★案内所までの地図★  
右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。（一部、携帯電話では確認できない機種があります）



★ご来館時のお願い★

駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。特にヒメザゼンソウ開花期間は、公共交通機関をご利用をお願いします。

開館時間 9：00～17：00 【入館無料】  
休館日 月曜日、祝日の翌日（その日が祝日の場合をのぞく）  
【公式HP】 <http://saitama-midorinomori.jp/>  
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

発行：さいたま緑の森博物館  
発行年月：2015年4月  
住所：〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1  
TEL/FAX：04-2934-4396

今年も、みどり森に春がやってきました！

厳しい冬の寒さもどこへやら、やわらかい陽射しが芽吹きが始まった森を照らし、鳥たちがさえずりの声を響かせています。

これからみどり森は、散策におすすめの季節を迎えます。日ごとに新緑が濃くなり、多くの生きものたちが躍動する自然の変化をお楽しみください！

今号のニュースレターは・・・  
足元に咲く「スミレ」をご紹介します。  
可憐な花を咲かせるスミレは、みどり森でも人気の植物です。  
どうしても花の時期しか目を向けられないスミレですが、今回は開花後のスミレのしたたかな戦略もご紹介します。



【みどり森に新しいスタッフが加わりました!!】

中尾 祐太(ニックネーム:おっち)

大学で、海や湖の生き物を調べていました。森の生き物は、今まであまり関わったことがなかったので、みどり森がとても楽しみです！どうぞよろしくお願い致します。

みどり森 里山広辞苑

緑の森博物館がテーマとしている雑木林や湿地などについて、毎号キーワードを挙げて紹介しています。今回は『八十八夜の別れ霜』です。里山は私たち人間だけでなく、その地域で暮らしている野生の生きものたちにとっても大切な生活場所なのです。

その13

八十八夜の別れ霜

立春から数えて八十八夜を過ぎると晩霜の恐れもなくなります。

この時期になると、遅霜の心配もほとんどなくなり、農家では種蒔きに備えた農耕が開始されます。

【米農家の場合】

苗代の「種振り」「粉振り」の時期です。苗代に種粉を蒔くことを「振る」といいます。

五月十日ごろまでには苗代の粉振りを終わらせるのが一般的です。

みどり森では・・・

実施している稲作体験イベントでは、苗代を作らず苗は農協から購入しています。

【茶農家の場合】

茶の新芽が伸び、狭山茶を産する人間地方の農家では茶摘みの適期を迎えます。

狭山茶は土留めや防風を目的に畦畔茶(けいはんちゃ)を植え、その茶を摘んで自家用の茶を作ったのがはじまりと言われています。茶の木は毎年刈り込むことで高木になることを防ぎ、畑作物が日陰にならないように配慮されています。これが後に換金作物として専用の茶園で栽培されるようになりました。

みどり森では・・・

大谷戸湿地周辺や雑木林の中に昔の畦畔茶の跡やお茶畑だった跡が残っています。

# ～足もとに咲く春 みどり森のスミレたち～

みどり森でも多くの植物たちが春を告げる姿は、人々の心を魅了します。中でも人気の植物スミレ。開花期は3月中旬～5月上旬までですが、花が咲き終わったあとに展開されるタネの戦略にもご注目ください！

## 春いちばんに咲く!! アオイスミレ

花の色は淡紫色～白に近い紫色で、上弁（花びら5枚のうち、上部につく2枚）がウサギの耳のように立ち上がり、側弁（花びら5枚のうち、横につく2枚）は開ききらない。葉の形がフタバアオイに似ていることが名前の由来です。



## 観察者を惑わせる?! コスミレ

花の色は淡紫色～濃紫色で、花の色や形態に変異が多く、ふつう無毛だが毛のあるものもある。葉は長三角形～長卵形で裏面はしばしば紫色を帯びる。



## スミレといったらワタシ! タチツボスミレ

花の色は淡紫色だが濃淡の変化が多い。日本でもっとも普通にみられるスミレで、托葉の縁が櫛の歯状に裂けたギザギザになるのが特徴。



托葉  
(たくよう)

## スミレ界のアイドル! フモトスミレ

全体に小柄でかわいらしい印象。花の色は白色に濃い紫色のすじが入る。上弁（花びら5枚のうち、上部につく2枚）は反り返る傾向がある。側弁（花びら5枚のうち、横につく2枚）は下向き。



## ぽっちゃり美人 マルバスミレ

花の色は白色～ピンクがかった白で、まるみを帯びた形をしている。名前の由来は葉の形だが、どちらかといえば心形（ハート型）。葉や茎に短毛が密生している。



## みどり森 スミレマップ

みどり森で、それぞれのスミレが多く見られる場所をご紹介します。



## スミレの仲間の中で花の小ささ日本一! ニョイスミレ (別名:ツボスミレ)

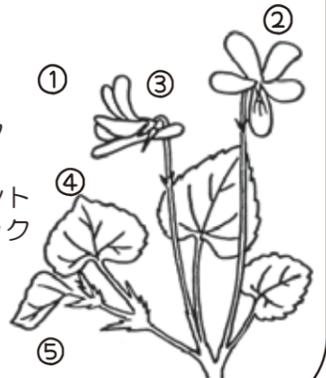
花の色は白色に細かい紫色のすじが目立ち、花の径は8ミリ程と小さく、花の中央に毛がある。



## わからないスミレに出逢ったら?

わからないスミレがあったら、後で調べるために写真を撮ったり、特徴をスケッチしておく調べやすくなります。じつはスミレの見分けは難しく、色だけや1枚の写真だとわからないことも…。写真の撮り方や観察ポイントをご紹介します。

- ① まずは全体を確認
- ② 花の正面顔もチェック
- ③ 花の横顔も忘れずに!
- ④ 葉の形も重要なポイント
- ⑤ 葉の裏側の色もチェック



## より遠くへ! スミレのタネの甘～い戦略

花が終わると、スミレは子孫を残すためにタネをつくります。スミレのタネには、より遠くへ分布を広げるための工夫がこらされています。

① 花が咲きおわって、「さや」がふくらみはじめます



うなだれるように  
下を向いています…

② タネ、準備完了!



ピーンと上向きに!

③ タネの入っている「さや」が3つに割れて…



ぎっしりタネのつまった  
「さや」のポート

④ 乾燥してくると…



ポートがだんだん縮んできて…

⑤ タネが押し出されます!



※アオイスミレなど、はじけ飛ばずに  
根元にこぼれ落ちるものもあります

⑥ アリがタネを発見!  
アリはエライオソームにつられて  
タネを巣へ運びます



エライオソームに目がありません♡

エライオソーム  
(タネに付いている甘い物質)

⑦ いらないタネの部分は巣の外へ捨てられ  
そこから新たなスミレが芽生えます